



題字 小笠原 孝

## 第26号

平成30年10月1日

発行

一般財団法人  
小笠原アカデミー  
教育振興財団

理事長

小笠原 孝

〈事務局〉

〒040-0016

函館市海岸町9-18

TEL 0138-84-5396

FAX 0138-84-5397



## 地域における

## 人材確保と育成の推進

函館商工会議所  
会 頭

久保 俊幸

我が国経済は、輸出や生産の持ち直しが続き個人消費や民間設備投資など民需が改善し、総じて緩やかな回復基調で推移しています。道内経済においても同様に回復基調が持続しているものの、野菜の高騰や資源価格の上昇による個人消費の節約志向の強まりなどから、昨年同時期と比べ力強さに欠ける動きとなっています。北海道は全国を上回る速さで人口減少と需要縮小が進んでおり、地元中小企業は中央経済の潤いを受容するまでには至っておらず、深刻化する人手不足も経営環境改善の足かせとなっています。

労働力の減少は人口減少地域あらゆるところで進んでおり、中小企業が地域経済の縮小に立ち向かい、人手不足に対処し成長や持続化を図っていくには、業務や作業工程を徹底的に見直し、生産性向上を推進していくことが不可欠と

なっています。本所では昨年、函館市と共同で会員企業に対し「IT(情報技術)を活用した生産性向上に関する調査」を実施し、函館市では今年度より新たな補助金や支援策をスタートさせており、本所としても事業者の課題解決を図られるよう経営改善の支援に努めているところとす。

企業における人手不足の問題を経営者の方々から伺うと、その実態は業種業態によって異なり、即時対応が必要な「現場現業人材の不足」と中長期的な「中核(後継)人材の不足」の大きく2つに集約されます。前者は建設作業員、製造加工作業員、介護福祉、飲食店スタッフ、コンビニ店員、ホテル客室やオフィスビル清掃員など、後者は大卒など幹部候補人材、子息など後継人材で、同じ人手不足でも採用や育成の方法、対策は異なるものです。ITを活用した生産性向上

は、経営管理などの間接部門においては比較的効果を生みやすいものですが、モノやサービスを生み出して売上を得る直接部門の最前線においては、自動化や機械化が難しい、人間でなければならぬ仕事が多く残っています。現場で人手不足を解消していくために大切なのは、人が人のために働き報酬を得ることの価値が下がらないようにすることで、生産性向上はそのために必要なことと感じています。

インダストリー4.0(第四次産業革命)という言葉が生まれ、ITやAI(人工知能)が経済活動に浸透していく未来は、経営者、労働者、消費者それぞれが「生産性向上とは、付加価値とは、お金とはなにか」を問われる時代になると思われます。極端な例を挙げると、仮に企業の売上の100%をAIやITが生み出すような経済社会の到来は、株主と経営者だけが利益を極大化させ、多くの労働者すなわち消費者がいなくなり、需要が消失する世の中になってしまふことを意味しています。生産性向上は、単なる機械化や省力化の実施で済ませることではなく、人間にしかできない仕事の価値が適正に評価され、

地域における生産・分配・支出の循環バランスがとれた持続可能な社会をつくるためのアクションとしていくことが求められます。そして、進化し続ける社会の担い手を育てる人材の教育もまた、進化させていくことが大切と感じます。

函館商工会議所では、地域における人材確保と育成の推進について、事業計画のなかで

- ・働き方改革や人工知能を活用した生産性向上、事業継承に関する支援強化
- ・外国人の雇用等多様な人材の活用に関する調査研究
- ・関係機関と連携した地元就職への意識醸成

- ・函館地域留学センター機構(仮称)の設立に向けた留学生受入態勢整備に関する調査研究の基本方針を据えており、行動する商工会議所として主体的に取り組み、行政機関や関係機関と一層の連携強化を図り、地域経済の発展と活性化、中小企業の活力強化のため各種事業を着実に推進してまいります。引き続き、小笠原アカデミー教育振興財団様の変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 学校図書 の 充 実 を 目 的 と す る ( 書 籍 ・ 書 架 一 式 を 4 校 へ 贈 呈 )



●小笠原孝理事長より生徒に向けて、図書に親しむことが大事と挨拶があり、その後、生徒代表より謝辞が述べられました。

### ■函館市教育委員会推薦

函館市立赤川中学校	校長	加賀重仁
函館市立日吉が丘小学校	校長	長谷川巖

### ■北海道教育庁 渡島教育局推薦

北斗市立上磯小学校	校長	高橋 徹
七飯町立七重小学校	校長	工藤達也

### 贈呈式〈平成29年10月17日〉赤川中学校に於いて

《出席者》 贈呈先学校より、(生徒会・児童会)代表役員

北海道教育庁渡島教育局	局長	河原 龍 毅
函館市教育委員会学校教育部	部長	木村 雅 彦
北斗市教育委員会	次長	岡村 弘 之
七飯町教育委員会	教育長	興田 敏 樹

## 《北海道・道徳教育研究会 函館大会》

第52回北海道・道徳教育研究会函館大会(2017・10月20日)開催に、運営費として助成金を贈呈した(会場:深堀中学校・駒場小学校に於いて)



小笠原孝理事長・中央(贈呈式)

○函館市教育委員会	教育長	辻 俊 行
○函館市教育委員会学校教育部	部長	木村 雅 彦
○大会運営委員会 (鱒川中学校・校長)		吉田 敬 三
○小学校研究会長 (万年橋中学校・校長)		前田 智 彦

## 《啄木ゆかりの地子どもかるた交流事業》

盛岡と函館の交流大会(2018・7月28日 函館アリーナに於いて)開催かるた大会・開会式で小笠原理事長より、大会運営費として助成金贈呈!



風の子クラブチームなど、14チームの参加

平成30年度「函館・盛岡啄木交流かるた大会」		
推薦	函館市教育委員会生涯学習部	部長 堀田三千代
主催	函館市文化・スポーツ振興財団	理事長 佐々木 茂
主管	函館市文学館	館長 福原 至

### 桔梗中・ハンドボール部《全国大会出場》

桔梗中学校ハンドボール部は、平成30年・3月に富山県で開催の全国中学校ハンドボール選手権大会に道代表で男女ともに出場！市教委・スポーツ振興課の推薦により、小笠原アカデミー教育振興財団から大会遠征費用として、助成金を桔梗中学校にて贈呈した。

出席者：濱谷操校長・安浦慎太郎監督・木村雅彦学校教育部長  
男子の中村玲唯主将・女子の二本柳幸来主将



### 全道国語教育研究大会・函館大会 開催

北海道国語教育研究大会・函館大会が平成30年10月開催する。  
主題：「実生活に生きてはたらく国語の力を育む授業の創造」  
全道から国語教諭が集まり、公開授業や分科会などを行うもの。

研究大会会場・小学校が金堀小学校・中学校は巴中学校  
小笠原孝理事長より市教委にて、辻俊行教育長に助成金贈呈！  
大会運営委員長・宇佐見雅史(駒場小・校長)・大会副委員長・滝澤智子(北中・校長)



### 教育の振興期間等への助成金一覧

1	H25	07-11	函館市英語教育研究大会・小中高(教材購入)	16	H28	10-12	①書籍書架一式贈呈(北美原小・亀田中・谷川小・軍川小)
2		07-12	上磯小学校吹奏楽部・東日本学校吹奏楽大会(出場遠征費用)	17		11-04	北海道放送教育・視聴覚教育研究大会・函館遠征大会(開催費用)
3	H26	03-17	函館圏フリースクール「すまえる」・ブックシェアリング(本棚購入)	18		11-11	北海道性教育研究大会・函館、遠征大会(開催費用)
4		05-29	日吉が丘小学校金管バンド・日本管楽合奏コンテスト(出場遠征費用)	19		11-12	道愛女子高等学校吹奏楽部・全日本吹奏楽大会(出場遠征費用)
5		07-22	北海道学校体育研究大会・函館大会(開催費用)	20	H29	04-14	函館音楽実行委員会・音楽祭記念オーケストラ演奏会(開催費用)
6		10-14	戸倉中学校吹奏楽部・全日本吹奏楽コンクール(出場遠征費用)	21		08-14	②函館国際室内楽アカデミー・国際ミュージックキャンプ(開催費用)
7		10-31	高岳小学校吹奏楽部・全日本管楽合奏コンクール全国大会(出場遠征費用)	22		10-02	上磯中・ラ・サール学園中 科学の甲子園ジュニア大会(出場遠征費用)
8	H27	06-19	北海道中学校理科教育研究大会・函館大会(開催費用)	23		10-02	③書籍書架一式贈呈(日吉が丘小・赤川中・上磯小、七重小)
9		07-22	淵川小学校・体育館改築工事(代替体育教材)	24		10-20	北海道・道徳教育研究会・函館大会(運営費用)
10		10-09	日吉が丘小学校金管バンド・日本管楽合奏コンテスト(出場遠征費用)	25	H30	02-15	図書研究会歴史講座(会場費用、資料作成費用)
11	H28	03-04	千代田小学校リコーダークラブ・全日本リコーダーコンテスト(出場遠征費用)	26		03-19	桔梗中学校(男女・ハンドボール部)全国選手権大会(出場遠征費用)
12		03-04	付属函館スポーツ少年団・全国バレーボール交流大会(出場遠征費用)	27		05-29	函館・盛岡球木ゆかりの地子どもかるた大会交流事業(開催費用)
13		03-14	①書籍書架一式贈呈(桔梗小・桔梗中・藤代小)	28		09-09	付属函館中・ラ・サール学園中 科学の甲子園ジュニア大会(出場遠征費用)
14		08-20	函館国際室内楽アカデミー・国際ミュージックキャンプ(開催費用)	29		09-21	北海道国語教育研究大会・函館大会(開催費用)
15		09-11	付属函館中・ラ・サール学園中 科学の甲子園ジュニア大会(出場遠征費用)	30		6校予定	④書籍書架一式贈呈(久根別小・林下小・函館市4校)



平成30年度 定時総会 2018・7・17 函館新聞社ビル会議室に於いて

### 一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

平成30年度 役員名簿		評議員名
理事長	小笠原 孝	小笠原 康正
業務執行理事	小笠原 勇人	齊藤 良昭
理事	小笠原 弘	近野 功
◇	野 又 肇	庄 司 澄枝
◇	安 島 進	羽根田 茂信
◇	橋 本 守	野 村 辰男
◇	川内谷 健三郎	成 田 豊
◇	平 野 利 明	野 口 博 敏
◇	竹 内 行 雄	
監 事	齊藤 一 雄	
◇	村 田 亮 二	

# 一般財団法人 小笠原アカデミー教育振興財団

「昭和55年設立」株式会社テーオー小笠原(1950～2017)の創業者、故、小笠原亀吉翁の意志でもあった青少年の育英「地域社会・経済の発展を担う人づくり」を具現化するために、小笠原亀吉翁の遺産の一部を基金として後継者が勸小笠原アカデミー財団を設立いたしました。

初代理事長は、(故、小笠原金悦)二代目理事長は小笠原孝となり、今日まで数多くの学生に奨学金を貸与して参りました。利用された学生達は、修学の上、教育者・指導者の道、又社会の第一線で活躍される道に進んでおられます。

その後、基金の増額として、小笠原孝夫人(故、小笠原幸子)の遺産の一部と、小笠原理事長個人の(株式、持株)の寄贈等によって更なる充実を計りました。平成24年には一般財団法人小笠原アカデミー教育振興財団に名称を改め、新たに教育機関等への助成金を加えまして、一段と社会貢献に努めております。



平成30年度前期奨学金貸与(7月27日)  
—— 小笠原理事長よりの挨拶 ——  
(新規4名・奨学生総数196名となる)

理事長 小笠原 孝

## 諸君の可能性を咲かせよう

### 向学心に燃える若人へ奨学金 奨学生の募集要項

#### 【資格】

- ・原則として、道南地方の住民の子女であること。
- ・大学又は大学院、専門学校又は専修学校、高等学校に在学する者。
- ・向学心に富み、かつ修業の見込みがあること。
- ・経済的な理由により、就学困難な事情があること。
- ・将来、国家及び社会に役立つと認められる者。

#### 【貸与額(月額)】

- ・大学又は大学院 25,000円
  - ・専門学校又は専修学校、短大 20,000円
  - ・高等学校 15,000円
- ※奨学金は原則として、6ヶ月分を一括貸与する。(年2回)

#### 【返還】

- ・奨学金の貸与が終了した日から1年を経過した日以後、貸与を受けた年数の3倍の期間内に返還すること。
- ・返還方法は年賦、半年賦、月賦、その他の方法による。

#### 【申込方法】

- ・所定の用紙(在学学校または財団事務局に申請)に必要事項を記載し、必要とされる書類を添付の上、在学学校を通じて申し込む。

申込期間 例年:4月1日～5月末日まで

### 教育の振興機関に助成金 教育機関等への助成要項

#### 【助成対象】

- ・学校等の教育機関及び地域社会の教育の振興に関わる機関。

#### 【助成額】

- ・助成額は1案件につき事業費の50%とし、上限を20万円とする。

#### 【申請書】

- ・申請書の様式は特に問わないが、下記事項を明記のこと。
- 1、事業名称・代表者名
- 2、事業及び費用の概要・収支計画書
- 3、行政からの推薦書(函館市教育委員会・渡島教育局)

#### 【例1】

〇〇小学校〇〇部 全国大会(東京)へ出場が決定しましたので、旅費などの一部を助成していただきたく。

#### 【例2】

〇〇中学校〇〇研究大会開催における費用の一部を助成していただきたく。

#### 【例3】

〇〇教育団体の〇〇教材の充実を計るための費用の一部を助成していただきたく。

申請は随時受付(但し、理事会の承認後の決定となります。)

■詳しいお問い合わせは当財団事務局(連絡先)へ

〒041-0061 函館市海岸町9-18 電話 0138-84-5396